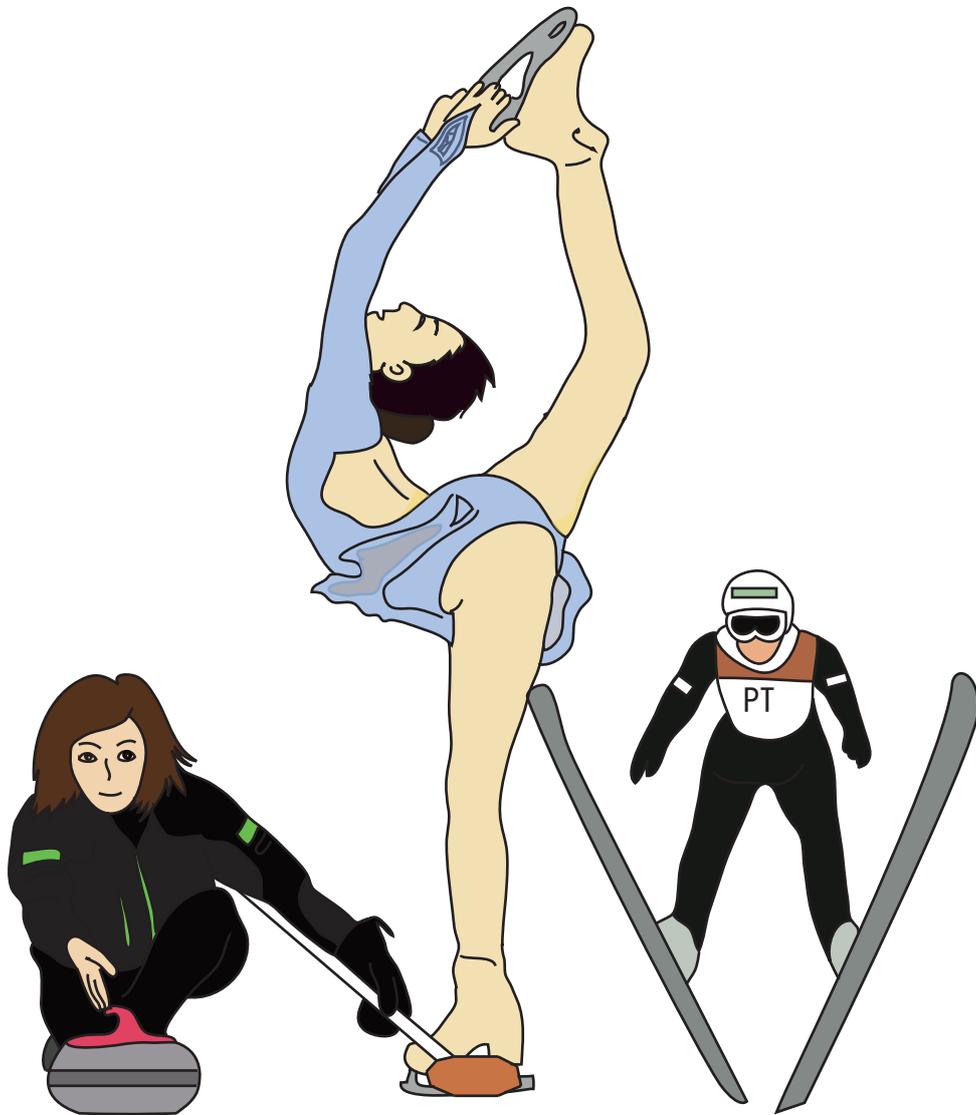


# かくどけい

KAKUDOKEI 2014

113号



公益社団法人  
熊本県理学療法士協会  
Kumamoto Physical Therapy Association

広報誌「かくどけい」  
平成 26 年 1 月 27 日 発行



- 001 巻頭言 「 今年の目標 」 川上照美
- 002 理事会報告
- 008 各部・委員会報告  
法人事業審議委員会  
生涯学習部  
事業部  
学術部  
教育部  
渉外部  
表彰審査委員会  
福祉部
- 012 大観望 『新年のご挨拶』 保田 佳史  
『表彰審査委員会に関わって』 山下 智弘
- 013 事務局だより
- 014 くまもと北から南から
- 015 平成 26 年度 公益信託 玉井記念整形外科科学研究助成基金 募集要項
- 016 他士会便り 「ホスピタリティ」 福岡県 No.196
- 017 学会・研修会印象記  
学会・研修会のお知らせ  
『日本訪問リハビリテーション協会 第 4 回学術大会 in 熊本  
「地域包括ケア時代の訪問リハビリテーションーその多様性と可能性ー』
- 018 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 019 よろず運動療法相談所 「マラソン後のケアの仕方や食事について」
- 020 医療・介護お役立ち情報 「車いすの介助方法について」
- 021 学術事業部文献紹介
- 022 異動・休会・復会・退会等の手続きについて
- 024 事業予定表
- 025 学会・研修会のお知らせ 『介護保険領域における研修会「在宅リハビリテーションの未来』  
編集後記

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (公社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp

## 『 今年 の 目標 』

公益社団法人 熊本県理学療法士協会  
理事 川上照美  
(介護老人保健施設 おとなの学校本校)

明けましておめでとうございます。平成26年が始まりましたが、皆さんは < 今年 の 目標 > をたてられましたか？ 目標は、5年後10年後の自分（なりたい自分）を見据えて、「今年 何を行うのか」をより具体的に表現したほうが良いそうです。そして、目標を教養・知識、健康・美容、心・精神、プライベート・家庭、社会・仕事、経済などの視点で見るとより具体的に「今年 行うこと」が見えてきます。例えば、月に1冊本を読む、月に1kgのダイエットをする、月に2種類の料理のレパートリーを増やす、新人教育プログラムを修了させる、認定理学療法士をとる、1年で100万円貯めるなど。そして、そのために「今日、何を行うのか」が自ずと決まってくる。是非、今日という1日を目標達成のために使いましょう。《 自分の人生は自分で創るもの 》 なりたい自分 になれるように < 今年 の 目標 > を一緒に頑張っていきましょう。

さて、職場でも事業計画の時期になっていると思いますが、当協会も現在、次年度の < 事業計画 > の準備をしています。公益社団法人となり「公益性のある事業とは何か？ 県民の皆様に対して理学療法士は何ができるのか？」を意識しながら、理事会および当協会にある10のブロック・地区は、地元根ざした活動・事業展開を考えています。近々では、2月の熊本城マラソンにも協力してストレッチ等を行います。参加される方は、是非お立ち寄り下さい。治療の効果を体験することができると思います。

また、地域ごとに健康教室や介護教室も開催する予定です。さらに、理学療法士自身の資質向上のための研修会や学会も行います。そして、地域で行われる糖尿病ウォークラリーや車いすテニス大会等への協力や、他職種と協力した地域リハビリテーションや訪問リハビリテーションや医療・保健・福祉連携学会等の活動も行います。

平成26年4月から新しい年度が始まります。今は事業計画の準備段階ですが、平成26年度の事業計画が達成できるように、目的意識をもち、より具体的に計画を立てて実行し、評価・見直しを行っていきます。そのために、2,000名を超える会員個々人は 理学療法士になりたかった頃の初心を忘れず、また理想とする理学療法士像を目指して自己成長に努め、活動や事業に積極的に参加していく必要があると思います。

最後に、公益社団法人となる熊本県理学療法士協会は、県民の皆様の近くにいる存在となり皆様に当協会の事業にご参加頂き、よりよい人生を一緒に築いていきたいと思っています。



# 理事会報告

## 平成25年度 第8回理事会議事録（要約版）

日時：平成25年10月2日（水）19：03～21：26

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

<会長>北里

<理事>前田・坂崎・飯星・大脇・川上・佐藤・  
三宮・田島・野津原・増田・光本

<監事>寺川 <事務職員>石黒・前田・吉永

欠席者：

<理事>大島・筒井・野間 <監事>中島

書記：實・永田（介護老人保健施設おとなの学校本校）

### 1. 報告事項

#### 1) 平成25年度特別委員会報告

##### ◇情報共有推進化特別委員会

（田島）東京にバックアップサーバがある。プログラム自体は熊本で管理している。二重、三重にバックアップする必要があるか疑問である。

##### ◇渉外活動推進特別委員会

（坂崎）熊本城マラソンは、20名ほどボランティアを募集する予定である。

##### ◇組織検討特別委員会

（田島）専門領域は、陣上先生を中心に次年度以降の方向性を出し、運営を進行している。

#### 2) 日本理学療法士協会選挙管理運営委員会について

[選挙管理委員会]

平成25年10月19日（土）の会議に出席する。

#### 3) 管理者教育カリキュラム受講キャンセルについて

[教育部]

受講キャンセル者に対して参加費を全額返金した。

#### 4) 第57回学術研修会追加募集について

[学術部]

申し込み開始後、2週間程度で定員に達した為、さらに50名の追加募集をしたいと要望し、追加募集の決済あり、講師からも了承を頂いた。

#### 5) 県北ブロック会議未開催について

[県北ブロック]

8月開催予定であった地区責任者会議は、特に議題がなかったため未開催となった。

#### 6) 玉名市健康食育福祉フェアについて

[県北ブロック]

玉名市民の健康増進と意識啓蒙を目的として実施されていたが、今後は「食育」に重点をおくとのことで、当協会・ブロックとしては主旨が異なるため、参加、協力が困難となった。

#### 7) 平成25年度事業計画等の修正・変更について

##### ○第46回市民公開講座

[変更後] 期 日：平成25年12月1日（日）

テーマ：「肩こりについて

～ストレートネックを含めて」

##### ○第6回小児研修会

[変更後] 期 日：平成25年11月10日（日）

場 所：介護老人保健施設

第二コスモピア熊本

テーマ：「生まれた時から医療に触れて

～当事者と保護者の声～」

講 師：岩下唯愛氏、岩下裕子氏、  
清水久美子氏、村上和美氏

対 象：医療・保育・教育関係者、一般

##### ○介護教室

[変更後] 場 所：熊本託麻台リハビリテーション病院

テーマ：「障害を持つ子ども達の理解

～保育活動における

リハビリテーションの活用～」

##### ○第14回テーピング講習会

[変更後] 期 日：平成26年2月9日（日）

### 2. 協議事項

#### 1) 広報誌「かくどけい」のリニューアルについて

（平成24年度第4回理事会継続審議）

[広報部]

（坂田）カラー版8P程度に変更し一般向けに作成。発行は年3回程度。印刷費用は1500部で、20万円。郵送費は別料金である。カラー印刷の場合、現状の予算を超過するが、公益事業として一般向けに伝えていくことで公益法人の一助になると考えている。

◆コンテンツの説明

◆配布先の検討について

実際の市民の声を反映したいが、県下一斉の配布は難しい。今後のスケジュールとしては、11月末までに配布場所など検討したい。

2) 上半期事業監査日程の調整について [事務局]

両監事と調整の上決定。

3) 公益社団法人移行記念祝賀会について [事務局]

日時：平成25年10月12日(土)

受付18:00 記念講演会18:30 祝賀会19:00

会場：ホテルニューオータニ熊本

(坂崎) 大島副会長が準備をされている。当初の予算は約191万へ修正。来賓にタクシーチケット配布。参加者は101名、40数名の来賓。最初に記念講演、サクソ演奏の余興と本協会の沿革を上映する。

(川上) 川上と光本理事で司会進行を担当する。

4) 九州ブロック各県理学療法士会長会議の議案提出について [事務局]

提出期限：平成25年10月31日(木)

(会長) 議題がある場合は、10月20日迄に連絡。

5) 専門領域部の運動器理学療法について

[スポーツ領域小委員会]

- ・専門領域部の『運動器理学療法』全てをスポーツが担うのはいかなものか
- ・スポーツ以外は同領域部内に立ち上げてはどうか
- ・今後検討をお願いしたい。

(野津原) ここ1~2年はこれまで通りの計画を遂行しながら、専門領域部の活動を模索していく段階である。

6) 理学療法士講習会(応用編)の企画について

[小児領域小委員会]

(田島) 次年度補助金を受ける形での申請を行うと、補助金が出た上に全国的な広報であり、40名という定員は集めやすいためこの企画で良いと思う。

(会長) 九州で小児の分野をやっている人や最近ではNICUも増えてきているため、このような所でも活躍できる理学療法士が増える事も重要だと思う。熊本県理学療法士協会としてこの案を承認して良いという者は挙手してほしい。

(理事) 承認。(10/10名)

7) 「学会・学会評議員会に関する規程」の改訂について

[学会評議員会]

- ・平成26年度組織改定にともなう規程の見直し

(会長) 赤字から変わった所も含め、この案について改定に賛成の者は挙手してほしい。

(理事) 承認。(11/11名)

8) 学会評議員の変更について [八代ブロック]

推薦：宮崎慎二氏

交代理由：現学会評議員平尾氏の所属異動に伴いブロックが変更となったため。

(会長) ブロック長からの推薦ということだが、承認される方は挙手をしてほしい。

(理事) 承認。(11/11名)

9) 第3回JIMTEF災害医療研修コースの推薦依頼について [事務局]

推薦〆切：10/7(月)

(坂崎) 日本理学療法士協会から来ており、誰かいればとのことである。

(会長) 今回は見送る形にする。

10) 新人会員の仮会員番号制度導入について

(第7回理事会継続審議)

[庶務部]

費用：120,750円

(会長) 仮会員番号制度の導入をして事務的な手続きの軽減をはかるということにしたい。

11) その他

(田島) 管理者教育カリキュラムのキャンセルについて、申込みを行うと返金しないのか、期日を決めて返金するなど申し込みの内容を決めた方がよいのではという指導をしたが、そのような方向性で良いか。

(会長) 定員に達したら申し込みを切るという形になっている。申し込みの際に具体的内容を明記したうえで申し込みを行い、キャンセルを減らしていけるよう対応していきたい。

(川上) 9/28・29で熊本市健康フェスティバルの当会の体力測定には、計800名程度の方が来られた。

(田島) 日曜日の市民公開講座開講にあたり、台風の場合の対応について問い合わせがあった。

(会長) 現場に一番近い人が判断した方が良い。中止の場合のみ連絡を行う。

(増田) 9/13締め切りの読売新聞の医療功労者賞に、1名推薦した。

(三宮) 医療保険連絡会議があり、疾患別リハビリテーションの実態調査を行っている。8月と9月の実績を以て各医療機関にお願いした。締め切りは10月15日。

(大脇) 9/22をもって訪問リハ研修協議会の今年の実務者研修会をすべて終了することができた。

(野津原) 今後自然災害における研修会の中止等の危機管理のマニュアルを作ってみてはどうか。

(坂崎) 全国事務局長会議に出席。

(三宮)休会した場合の県士会レベルでの提案などあれば良いと思う。

(会長)休会者を退会させないためのフォローアップが出来るための一つの対策として1年毎の休会手続きであると思うが浸透していないのではないかと思う。

(坂崎)夫婦理学療法士が5%程いるが、結婚すると奥さんの方が退会してしまう傾向が強い。夫婦割やシニア割を検討していく。会員としての引き留め策を検討していく必要がある。

(会長)公益事業への派遣が必要な場合、引退した会員の活躍が期待されるため、今後検討の必要あり。

以上、閉会

## 平成25年度 第2回拡大理事会 (要約版)

日 時：平成25年11月6日(水) 19:00～20:20

場 所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

<代表理事>北里会長

<業務執行理事>大島副会長・前田副会長・  
坂崎専務理事

<理事>飯星・大脇・川上・三宮・田島・筒井

<監事>寺川・中島

<部長・委員長>福島(庶務部)・藤原(厚生部)・岸本(調査資料部)・河島(保険部)・坂田(広報部)・草野(宣伝部)・今屋(学術部)・前田(教育部)・岩田(学術事業部)・當利(生涯学習部)・一安(福祉部)・保田(事業部)・山下(表彰審査委員会)・大籠(法人事業審議委員会)・溝上(糖尿病小委員会)・市原(小児領域小委員会)・西村(スポーツ領域小委員会)

<ブロック長・地区長>樽山(熊本市ブロック菊阿地区)・富田(熊本市ブロック西地区)・興呂木(熊本市ブロック中央地区)・竹内(熊本市ブロック東地区)・尾崎(熊本市ブロック南地区)・塚本(熊本市ブロック北地区)・浦上(県北ブロック)・塚島(八代ブロック)・藤井(県南ブロック)・陣上(次年度専門領域部長)

<事務局員>坂本

<事務職員>石黒・前田・吉永

欠席者：

<理事>佐藤・野津原・野間・増田・光本

<部長・委員長>山本(総務部)・久米野(財務部)・岩下(IT事業部)・奥村(選挙管理委員会)・前本(呼吸領域小委員会)

<ブロック長・地区長>水田(天草ブロック)

書 記：木村・山口(熊本セントラル病院)

## 1. 報告事項

### 1) 代表理事及び業務執行理事報告

北里会長より平成25年度の重点事業 ①情報共有の推進 ②協会目的を達成するための渉外活動の推進 ③組織の検討 の統括活動報告

前田副会長より公益事業1(県民の医療・保健・福祉に資する事業)の活動報告

坂崎事務局より公益事業2(医療・保健・福祉の関連団体との協力・連携に関する事業)の活動報告

大島副会長より公益事業3(医療・保健・福祉関連職種の資質向上に資する事業)の活動報告

坂崎専務理事より共益(会員の資質向上のための事業)と管理(本会の目的の達成に必要な管理・運営)の活動報告

### 2) 上半期事業の成果・改善点及び下半期事業予定、次年度新規事業について

#### 1. 総務部(山本部長欠席のため坂崎専務理事説明)

(坂崎)総務部の上半期は受信物、発送書類の作成・管理を行った。

#### 2. 庶務部

**【福島庶務部長】**

(福島)上半期の事業は、会員異動届、休会・退会届の受付及び事務処理を行った。

#### 3. 財務部

(久米野部長欠席のため坂崎専務理事説明)

(坂崎)熊本県理学療法士協会並びに日本理学療法士協会の会費の管理、対応。

#### 4. 厚生部(藤原部長欠席のため金子部員説明)

(金子)新人オリエンテーションを実施し、協会の説明と懇親会を行った。

#### 5. 調査資料部

**【岸本調査資料部長】**

(岸本)九州PT・OT合同学会のアンケート調査の対応準備を進めている。次年度は新組織に調査資料部の位置付けが無いため、事業予定なし。

#### 6. 渉外部

**【坂崎専務理事】**

(坂崎)日本理学療法士協会並びに他県理学療法士協会との連絡調整と公益事業に関する連絡調整を行った。

#### 7. 保険部

**【河島保険部長】**

(河島)医療保険と介護保険に関する研修会を行った。

#### 8. 広報部

**【坂田広報部長】**

(坂田)9月までに109～111の3号の広報誌「かくどけい」発刊を行った。次年度は公益法人化に伴い対象を会員から一般市民への変更を予定している。

#### 9. 宣伝部

**【草野宣伝部長】**

(草野)新卒者を対象に入会案内を行った。各種イベントでの啓発活動、ユニフォームの貸出を行った。

## 10. IT事業部

(岩下部長欠席のため坂崎専務理事説明)

(坂崎) 上半期はホームページと新しい情報の更新を中心に対応した。

## 11. 学術部 【今屋学術部長】

(今屋) 学術研修会(2回)、理学療法士講習会(応用編)を開催した。

## 12. 教育部 【前田教育部長】

(前田) 教育部会、臨床実習教育研修会、卒後教育研修会(2回)、管理者教育カリキュラム第1ステージ(3クール)、フォローアップ研修を行った。次年度より管理者教育カリキュラム第2ステージ導入予定。

## 13. 学術事業部 【岩田学術事業部長】

(岩田) 市民公開講座を開催した。

## 14. 生涯学習部 【當利生涯学習部長】

(當利) 新人研修会(5回)を開催した。次年度から庶務部と教育部に移行していく。

## 15. 福祉部 (木原部長欠席のため一安部員説明)

(一安) 上半期の業務実績なし。下半期に介護教室、福祉研修会、介護保険領域における研修会を開催予定。

## 16. 事業部 【保田事業部長】

(保田) グランドゴルフ大会、第11回くまもと「PTあ!」っと健康講座、介護支援専門員受験対策講座を開催した。

## 17. 規約審議委員会

なし

## 18. 表彰審査委員会 【山下表彰審査委員長】

(山下) 新入職者向け表彰に関する入力案内を「かくどけい」で行った。

## 19. 法人事業審議委員会 【大籠法人事業審議委員長】

(大籠) 定例会議開催。次年度は組織体制検討委員会に業務移行する。

## 20. 選挙管理委員会

(奥村委員長欠席のため坂崎専務理事説明)

(坂崎) 日本理学療法士協会の代議員の選挙に向けた対応を行っている。

## 21. 学会評議員会 【田島理事】

(田島) 前年度の県学会の新人賞の表彰を行った。

## 22. 分野別小委員会 (欠席) 【野津原理事】

なし

## 23. 糖尿病小委員会 【溝上糖尿病小委員長】

(溝上) 例年の事業に加えて、学校保健会への対応、宮崎県看護セミナーでの講演、各地域での活動を行った。

## 24. 小児領域小委員会 【市原小児領域小委員長】

(市原) 新人向けの症例発表会を行った。下半期は小児研修会を実施する。

## 25. 呼吸領域小委員会

(前本委員長欠席のため筒井理事説明)

(筒井) 上半期は循環器セミナーと吸引セミナーを人吉と玉名で実施した。

## 26. スポーツ領域小委員会

【西村スポーツ領域小委員長】

(西村) テーピング講習会を大阿蘇病院で実施した。車いすテニス大会への派遣を行った。

## 27. ブロック 【飯星理事】

(飯星) 来年度組織再編により熊本市ブロックの地区がブロックになる。

## 28. 熊本市ブロック菊阿地区

【樽山熊本市ブロック菊阿地区長】

(樽山) 地区会議開催、地区市町村への事業説明、「車いすふれあいジョギング大会」への参加。

## 29. 熊本市ブロック西地区

【富田熊本市ブロック西地区長】

(富田) 地区会議開催、熊本市民健康フェスティバルへの参加。

## 30. 熊本市ブロック中央地区

【興呂木熊本市ブロック中央地区長】

(興呂木) 地区会議開催。

## 31. 熊本市ブロック東地区

【竹内熊本市ブロック東地区長】

(竹内) 地区会議開催、勉強会開催、地区市町村への事業説明を行った。

## 32. 熊本市ブロック南地区

【尾崎熊本市ブロック南地区長】

(尾崎) 地区会議開催、公益事業の企画を行った。

## 33. 熊本市ブロック北地区

【塚本熊本市ブロック北地区長】

(塚本) 地区会議開催、勉強会開催。下半期の事業として、「北地区いきいき健康まつり」に参加予定。

## 34. 県北ブロック 【浦上県北ブロック長】

(浦上) ブロック会議開催、「荒尾市民健康福祉まつり」に参加。

## 35. 八代ブロック 【塚島八代ブロック長】

(塚島) ブロック会議、新人懇親会開催。次に八代地区での懇親会を開催。「吸引セミナー」開催。

## 36. 天草ブロック (欠席)

なし

## 37. 県南ブロック 【藤井県南ブロック長】

(藤井) ブロック会議、勉強会、懇親会開催。

### 3) その他

(坂崎)事務局から会費未納者への声掛け、上半期の報告書提出のお願い。

(中島)学会準備の進捗報告。

(会長)地域包括支援センターに理学療法士の定員をつけて活動させるというモデル事業を連盟を通じて県に要望している。地区の地域包括支援センターもしくは「ささえりあ」等からモデル事業として要請があれば是非協力をして頂きたい。

(坂崎)公益事業用として「のぼり」、折り畳みベッド、畳一枚分ぐらいのバスタオルが10枚、小さなタオルが30枚、握力計、体重計などが協会の備品としてある。体力測定等に使用できるかと思われる。使用される場合は声をかけるように。

以上、閉会

### 平成25年度 第9回理事会議事録(要約版)

日時：平成25年11月6日(水)20:40~21:30

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

<会長>北里

<理事>大島・前田・坂崎・大脇・川上・佐藤・三宮・田島・増田・筒井

<監事>寺川・中島

<事務局員>坂本

<事務職員>石黒・前田・吉永

欠席者：

<理事>飯星・野津原・野間・光本

書記：木村・山口(熊本セントラル病院)

### 1. 報告事項

#### 1) 公益法人移行記念講演会・祝賀会報告

##### 【事務局】

(坂崎)10/12に法人移行の記念式典、特別講演をニューオータニ熊本で開催した。

#### 2) 平成25年度特別委員会報告

##### ◇情報共有推進化特別委員会

(筒井)次年度からのホームページの切り替えについて検討中、3/9の総会後に新部長、担当者を含めホームページの操作方法の講習会を開催予定。

##### ◇渉外活動推進特別委員会

(坂崎)ふれあいジョギングの調整実施。第3回の熊本城マラソンへ今年も20名程度のボランティアを募る。

##### ◇組織検討特別委員会

(前田)報告事項なし。

### 3) 第7回熊本県医療・保健・福祉連携学会

#### 第2回企画委員会報告

#### 【佐藤理事】

(佐藤)10月21日に第2回企画委員会に出席。

「在宅医療・介護の連携・顔の見える関係を目指して」のテーマで開催される。

日時：平成26年3月8日(土)

場所：鶴屋ホール

分科会1の内容：

演題1「障害者自立支援法から総合支援法への改正について」

熊本県こども・障がい福祉局 課長補佐  
橋本裕氏

演題2「障害者総合支援法に変わっての実務上の課題」

デイサービス紅い華 熊本北センター  
介護支援専門員 サービス管理責任者  
後藤浩司氏

座長 中野誠也氏(熊本県MSW協会)

次回企画委員会は12月5日(日)19時~

#### 4) 第7回熊本県医療・保健・福祉連携学会における広告料並びに賛助金について

##### 【北里会長】

(会長)作業療法士会、言語聴覚士会と足並みを揃え、例年通り賛助金3口で対応した。

#### 5) 平成25年度事業計画等の修正・変更について

##### ○糖尿病小委員会研修会

【変更前】期日：調整中 場所：調整中

【変更後】期日：平成26年2月2日(日)

場所：熊本リハビリテーション病院

#### 6) 日本理学療法士協会選挙管理運営委員会報告

##### 【奥村選挙管理運営委員】

日時：平成25年10月19日(土)14時30分~16時

会場：日本理学療法士協会会館

出席者：奥村

##### ①代議員選挙について

2014年2月下旬より投票開始、今回もインターネット投票にて施行する。

##### ②代議員定数について

10/1 現在での熊本県の代議員選出予想定数は7名、12/1時点の会員数にて決定。

## 2. 協議事項

### 1) 次年度広報活動について

【広報部】

(会長)次年度は一般市民向けへの広報活動として、広告料を支払い郵便局に新広報誌を配置予定。

### 2) ホームページ切替について

【情報共有推進化特別委員会】

(田島)公開期限の過ぎた情報は、別のサーバーで立ち上げ、そこに切り替える予定。切替の手間と確認作業に費用が発生するが、期限が切れた古いデータは別に保管を行う。

(会長)まとめて保管するという対応で願する。

### 3) 緊急時ホームページお知らせ機能追加について

【情報共有推進化特別委員会】

(田島)緊急時の対応について確認したところ、表記システムは存在しているとの回答であった。現在、機能を使用できるのは事務局のPCだけであるが、この機能を三役に設定することは可能である。費用としては3万円程である。費用と管理について検討して頂きたい。

(会長)緊急時のホームページのお知らせ機能は追加するというので、管理については私(会長)の責任で行う。現場での判断を私が確認するという形になるが、入力はいずれにするかを検討して頂きたい。

(坂崎)スマートフォンからも入力ができるか。

(田島)表示はできるようだが、入力が出来るか確認をする。

(田島)共通パスワードで順番を決め3人ほどが入力できるようにするというのと、スマートフォンからも可能であれば入力できるように作業を進める。

(会長)このシステムが完成し動き出す際は、研修会参加者への広報が必要になる。部長会議等で報告し周知徹底をしていただく必要がある。

### 4) 熊本県健康づくり県民会議表彰に係る推薦について

【事務局】

(増田)健康づくり県民会議表彰の提出期限が11/15である。今後、健康増進に関わる各種団体の動きが広がってくるのが予測されるので、戦略的に熊本県理学療法士協会が推薦する団体を挙げることができれば、継続的に協会の公益性に役立つのではないかと考える。

(会長)他団体を推薦するのは可能だが、公益法人の立場としてどこを推薦するかは非常に大きな問題。戦略的な意図があり、世間の目を向けるということで表彰をするというのは非常に良いやり方と思うが、特定の団体に偏りがないようにするのは重要なので、戦略をじっくりと

練ったほうが良いのでは。

(増田)県庁に確認したところ、県や市町村から予算がついている事業は推薦対象にはならないとのことなので、その点の考慮は必要となる。

(会長)当協会も過去表彰を受けたが、期間がどれくらい開けば良いか。

(増田)期間は問題とならない。前回は自薦であったので、次に表彰していただくならば、他団体からの推薦という形が理想である。

(会長)そういう戦略をもって表彰を利用できるようになれば良いと考える。

## 3. その他

(増田)11/2に当協会の倫理担当としてJPTA「職能倫理を求めて」というテーマの研修会に参加した。JPTAからインフォメーションで、各県での傷害事件等が紹介され、人としての基本は接遇であることが強調されており、接遇を改善させるためには、組織の中に「接遇改善委員会」を立ち上げて、会員の接遇改善に役立ててみてはどの話があった。接遇について伝えていくことで会員の意識が変わっていくことにつながるのではないかと。また、変えるように努力するようにとのことで、この話を各県士会に持ち帰り、話をするようにとのことであった。

(坂崎)菊阿地区で「ふれあいジョギング」の対応があった。北地区では「いきいき健康まつり」の準備が進んでいる。急を要していたので、地区責任者と私の判断で若干の会議費等、運営にかかる予算のやり取りを行ったのでご報告とさせていただきます。もう一点は、日本理学療法士協会の中で組織運営協議会が12月に行われるが、それに対する議案の提出が必要である。11/15が締め切りのためどうしたらよいかということで発言させて頂いた。(会長)代議員会に提出する都道府県提出議題だと思って頂いていい。提出した分に関しては12/15に行われる組織運営協議会において全国協会から必ず回答するという事になっている。来年度の重点事業等に関してなど、先日資料で入っていたと思うが、そのへんも含めて全国への意見や提案があれば、今週中までに坂崎事務局長へ提出頂ければと思う。理由と根拠も含めて簡潔に書くように。

以上 閉会

# 各部・委員会報告

## 法人事業審議委員会 委員長 大籠 安男

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

新年の目標を掲げ新たな決意とともに一年をスタートした方も多いのではないのでしょうか。私も立てた目標を達成できるように頑張っていきたいと思えます！！

さて、法人事業審議委員会活動ですが、10月17日、12月12日に会議を行ないました。日本理学療法士協会および熊本県理学療法士協会理事会等資料をもとに、会長および委員で情報を共有しております。

ご承知の通り熊本県理学療法士協会は平成26年度から組織が再編されます。それに伴い法人事業審議委員会は発展的に解消となります。平成6年に熊本県理学療法士協会が法人格を取得したと同時に当委員会が発足し、今年度で20年目。私は4代目委員長として平成15年から就任させていただきました。こんな私が今日までやってこれたのも第6代会長の小川先生、第7代会長の森重先生、現会長の北里先生、専務理事の坂崎先生、またご協力いただいた各理事の先生方、歴代の委員長、毎回多くの資料に目を通しまとめて頂いた委員の先生方、快く協会活動に出させてくれた職場の方々、そんな皆様から優しく見守っていただいたおかげです。心より感謝いたします。

新組織においては「組織体制審議委員会」として新たに役割を頂きました。上記の皆様から頂いた多くの学びをもってさらに当協会の発展に寄与できるよう委員一同活動してまいりますので、今後ともご理解とご協力、ご指導の程よろしくお願い致します。

## 生涯学習部 部長 當利 賢一

### ◎認定理学療法士資格の申請の流れについて

平成25年度の認定理学療法士試験の受験申込みはすでに終了しました。4回目となる今年度は申請者数が過去最多であったそうです。今後、認定理学療法士の取得を目指す会員のために、この認定試験の申請の流れについて以下に示します。

### ・資格取得には

- ① 提出ポイント（180ポイント）を満たし、
- ② 例報告（10例）又はレビューレポートの審査に通り、
- ③ 認定試験に合格する必要があります。

※ 新人教育プログラムを終了し、受験する年度末に専門分野登録（旧専門領域）から2年経過していることが必要です。

※ 更新は5年毎です。計画的なポイント取得に努めてください。

### ・受験申請の流れ



※詳しくは日本理学療法士協会 HP をご参照下さい。

### ・お問い合わせに関して

ご質問は随時受け付けておりますが緊急の場合以外はメールにてお願い致します。

メールアドレスは… [kpta.lld@gmail.com](mailto:kpta.lld@gmail.com)

緊急の場合は…

部長：當利賢一

（所属：介護老人保健施設 清雅苑）

TEL：096-345-8112 内線 7308

## 事業部 部長 保田 圭史

新年明けましておめでとうございます。寒い日が続いていますが風邪などひいておられませんか？

さて、事業部は次年度より公益事業推進部となり、ますます公益事業へ力を入れなければと準備を進めているところであります。次年度は第12回目を迎えます【くまもと『PT あ！(ピタ)』っと健康講座】も「睡眠」・「栄養」・「運動」というテーマで調整を行っておりますので是非ご参加ください。

## 学術部 部長 今屋 将美

新年あけましておめでとうございます。会員皆様におかれましては、今年の抱負を胸に新たな気持ちで新年をお迎えの事と存じます。昨年11月をもちまして今年度全ての事業が無事終了しました。参加頂いた会員の皆様ならびにご協力いただいた方々に心より御礼申し上げます。

それでは先日の研修会の事業報告と次年度のご連絡をいたします。

### 《開催報告》

#### 『第57回学術研修会』

テーマ：「リハ専門医からのメッセージ

～リハビリテーション医療に必要な知識と管理～」

講師：松元 秀次 先生

(鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター医局長 助教)

日時：平成25年11月17日(日)

会場：九州中央リハビリテーション学院

対象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

参加人数：128名(会員122名、会員外6名)

所感：今回開催された平成25年度第57回学術研修会は、鹿児島大学大学院の松元秀次先生をお招きして、『リハ専門医からのメッセージ～リハビリテーション医療に必要な知識と管理～』と題して、脳卒中を中心としてリスク管理、画像所見、研究について、最新の知見を交えて御講義頂きました。

講義内容は、脳卒中の機能回復のメカニズムやそれを応用したアプローチ、検査所見を踏まえたリスク管理、画像から病態を把握する画像診断学、

研究の進め方など多岐にわたるものでした。この研修会を通して、数値や画像の客観的な所見を把握することの重要性を再認識することができました。また松元先生の臨床に対する熱い想いも伝わり、我々の明日からの臨床にも意欲が高まりました。アンケート結果では「画像を基礎から学ぶことができてよかった」「丁寧で細部まで詳しくてわかりやすかった」「研究が身近に感じられ、興味を持って進めたい」という声が多く聞かれました。最後に、ご協力いただいた関係各位ならびに熱心に受講していただいた会員の皆様に御礼申し上げます。

(報告者：熊本託麻台リハビリテーション病院 内布智美)



### 《次年度予告》

次年度、熊本県理学療法士協会組織再編に伴い、学術部は研修班、学術資料班、研究助成班の3班構成となります。それぞれが連携し会員の学術活動に寄与してまいりたいと考えています。

平成26年度は年4回の学術研修会、第2回理学療法士講習会(応用編)を企画しています。次年度も学術部活動へのご協力をよろしくお願い致します。

九州北部豪雨で被災された皆様、東日本大震災の被災者の皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

教育部 部員一同

教育部の前田です。平成 25 年も終わり平成 26 年が幕を開けて早くも 1 月ですね。今年もよろしくお願い致します。平成 26 年度も教育部は皆様のよき学びを提供できるコンテンツを計画しております。どうぞご期待下さい。

さて当教育部では各研修会やお役立ち情報等の情報を、熊本県理学療法士協会ホームページを通じて発信してまいりますので、ログイン ID の登録、ならびに公益社団法人日本理学療法士協会（以下：JPTA）のマイページ登録（どちらも無料）をよろしくお願い致します。

☆各班の活動です

◎卒後教育班：今年度事業は全て終了し、次年度に向けての準備に入っております。平成 26 年度は当協会も組織再編が行なわれ、卒後教育班に現生涯学習部の新人教育プログラムの研修会運営機能が加わります。どちらも昨今問題となっている若手セラピストの臨床能力の標準化や向上において必要不可欠な内容の研修会ばかりです。基礎があってこそその応用、発展であると思います。今後も従来の卒後教育研修会に加え新人研修会を行なってまいりますので、ポイント取得だけでなく、自己研鑽のためにも多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

◎臨床実習教育班：臨床実習教育班は、今年度の研修会事業が終わり、現在、CE(Clinical Educator)の育成カリキュラム作成とSVの手引き改定に向けた活動を中心に行っております。年々臨床実習教育における問題点は深く複雑になってきており、養成校、実習施設ともに悩ましいところだと思っております。だからこそ強い連携が不可欠であり、当臨床実習教育班もその力添えをしたいと願っております。皆様からもぜひご意見ご要望を井田抱きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

さて！「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設 1 部の配布ですが、PDF にて熊本県理学療法士協会ホームページ

(<http://www.kumamoto-pt.org/>) お役立ち情報のページよりダウンロードできますのでぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にさせていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力でこの手引きを育てていきましょう。

◎管理・運営教育班：12 月に今年度の管理者教育カリキュラム（第 1 ステージ）が終了しました。参加者 20 名全員が無事に修了証を受け取り第 4 期生として現場に戻っていかれました。これからの管理運営にぜひ役立ててほしいと思っております。ご協力いただきました全ての方々に心より感謝申し上げます。先にも書きましたが、いよいよ第 2 ステージ開講に向けて準備を進めております。講師も決まり、あとは事業計画の完成を待つのみとなっております。第 1 ステージのフォローアップも含めて今後も継続的に活動をしてまいりますのでよろしくお願い致します。もちろん今後ご意見ご要望等をどしどしお寄せ下さい。

☆教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き（第 5 版）を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私(前田) [rptmaeda@yahoo.co.jp](mailto:rptmaeda@yahoo.co.jp)までご連絡下さい。

- ・読売新聞社「第 42 回医療功労賞」、公衆衛生事業功労者表彰受賞者決定  
当会会員の今村大泉氏が読売新聞社「第 42 回医療功労賞」を、赤星朱美氏が平成 25 年度公衆衛生事業功労者表彰の受賞者に決定致しました。本当におめでとうございます。益々のご活躍を祈念致します。
- ・熊本城マラソン 2014 ボランティア支援

日 時：平成 26 年 2 月 16 日(日)

場 所：熊本市南区平田町

・賛助会員懇談会準備

日 時：平成 26 年 2 月 7 日 19：00～

会 場：メルパルク熊本

・シティ FM「健康サロン」出演者調整

日 時：平成 26 年 1 月 22 日 14：00～

テーマ：「呼吸リハビリテーションについて」

担 当：筒井理事

・熊日スミセイさわやか介護セミナー

日 時：平成 26 年 1 月 25 日(土)

会 場：熊日会館

テーマ：「学んで実践 介護のポイント」

担 当：光元理事 他会員 6 名

**表彰審査委員会 委員長 山下 智弘**

新年明けましておめでとうございます。

早いもので『平成 25 年度 協会会員表彰りんどう賞』候補者推薦の時期になりました。

本年度から協会表彰規定により『りんどう賞推薦基準』を熊本県理学療法士協会会員で以下の条件を満たすものと致しました。

**必須条件**

1. 新人教育プログラム修了者。
2. 会費未納や罰則などの前歴がない。
3. 理事・部局長・ブロック長または所属長の推薦がある。

**以下の条件を原則 2 項目以上満たしているもの**

4. 入会后 3 年以上、部局又はブロック活動などを献身的に行っている。
5. 3 回の発表・論文などの学術実績がある。
6. 理学療法士としての社会貢献実績やそれに資する理学療法士以外の資格がある。

\*4.5.6 のうち、一つではあるが特に顕著な業績があると認められるものも推薦することが出来る。

残念ながら昨年度は、該当者がいらっしゃいませんでした。後日理事・部局長・ブロック長等の方々に、「りんどう賞候補者推薦依頼文」ならびに「推薦書」をお送り致します。1 人でも多くの方のご推薦をよろしくお願い致します。

表彰は、5 月に開催予定の『平成 26 年度第 1 回熊本県理学療法士協会総会』におきまして、行われ

ますので、4 月末日までにご推薦下さるようお願い致します。

また、平成 26 年度より、表彰審査委員会は統合されなくなりますので、平成 25 年度新入会会員ならび全会員の方々を対象に「表彰に関するデータ入力」の案内を、「かくどけい 110 号・112 号」に掲載しております。本年度中の入力を是非お願い致します。

＜候補者推薦ならびに入力に関する問い合わせ先＞

〒869-0532 宇城市松橋町久具 691

宇城総合病院 リハビリテーション部

TEL：0964-32-3111（内線：695）

E-mail：[ukisogo-rehashien@reimeiki.jp](mailto:ukisogo-rehashien@reimeiki.jp)

担当：山下 智弘

**福 祉 部 部長 木原 伸一**

今後の福祉部の活動について、ご報告いたします。

「第 3 回介護保険領域における研修会」を、平成 26 年 2 月 22 日（土）14 時～17 時予定にて、NPO 全国在宅リハビリテーションを考える会の理事長でもある、「塩中 雅博先生」（理学療法士：ポシブル医科学株式会社 代表取締役）をお呼びして、「在宅リハビリテーションの未来（ポシブルの展開と展望）」というテーマで開催します。

今後の地域包括ケア体制実現を含めて、地域リハビリテーションの中で、在宅リハで療法士に求められるもの、ポシブルポシブル医科学(株)の全国的な展開（特にリハ特化型通所の可能性など）、今後の訪問リハステーションの可能性や特区の取り組み、今後の療法士へのアドバイス、などを講演していただく予定です。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

また昨年多くの感動があり反響の大きかった、福祉研修会「命の授業～夢を支えるセラピストへの提言～」講師：腰塚 勇人先生（講演家、元体育教師・養護教員）をお呼びして、平成 25 年 11 月 29 日（金）に行い、多くの皆様のご参加をいただきありがとうございました。患者様からの立場での意見や思い、「夢を与えるセラピストになって欲しい（ドリー夢メーカー）、逆にドリー夢キラーになって欲しくない」、「命の大切さ」「QOL を支援するかかわり方」などなど、感動されている方が多く、有意義な研修会となりました。

本当にありがとうございました。

# 大 観 望

## 『新年のご挨拶』

事業部部长  
公立玉名中央病院  
保田 佳史

新年明けましておめでとうございます。皆様はどのようなお正月を過ごされましたでしょうか？お正月といえばまずお屠蘇を飲みますがこれには「屠」は「邪気を払う」、「蘇」は「魂を目覚め蘇らせる」という意味や「屠（ほふ）る」、「蘇」は「病をもたらす鬼」という意味があるようで（諸説あるようですが…）いずれにしても邪気を払い無病長寿を祈り、心身ともに改まろう、という願いを込めて頂くお酒のようです。作法には大晦日の晩に井戸に吊るし元旦の朝、若水で身を清め神棚、仏壇に拝んだ後家族全員そろって新年の挨拶を行う。その後雑煮やおせちを頂く前に一家そろって東の方角を向き年少者～年長者の順に盃を進めるのが習わしだそうです。その後松の内が過ぎたら袋の中の薬滓を、元の井戸の中に投げ入れる。この井戸水を飲めば一代の間、無病でいられるとされたそうです。このような昔ながらの作法も大変大事だと思いますが現在の生活様式にはそぐわないため今の各家庭のスタイルに変化していったのだと思います。私たち理学療法士も昔ながらの良い風習、良い技術、先人の知恵を生かしながら、いま求められている各人のスタイルに変化していくべきだと思います。そのためには若い方々の創造力やエネルギー、知識が必要ですので職場で建設的なご意見をどんどん投げかけてください。また、どこかで一緒にお仕事させていただく機会がございましたらぜひご協力お願い致します。

長くなりましたが、回復期リハビリテーション病棟を立ち上げている病院も増え、365日体制で勤務し体調がすぐれない方やお正月で不摂生をした方も多いと思います。年の初めにセルフメンテナンスし今年も1年無事に働けるよう自分の体と向き合ってみてはいかがでしょうか？患者と向き合うものとして私自身健康でなければいけないと思い今年も熊本城マラソンにエントリーしております。沿道で見かけた方や一緒に走られる方、もし見かけたら気軽にお声かけください。それでは本年もよろしく願い申し上げます。

## 『表彰審査委員会に関わって』

表彰審査委員会委員長  
宇城総合病院  
山下 智弘

平成19年4月より表彰審査委員会委員長として約7年間関わってきました。しかし、協会の公益法人化に伴い組織の再編がなされ、本年度をもちまして当委員会はなくなることとなります。事業は庶務部ならびに事務局に引き続き行っていただくことになっております。

思い起こせば、その当時全く協会の事業に関わった経験のない私でしたので、右も左もわからず、そのうえ委員の経験もしないまま委員長の任を受けてしまい、今思えばよく引き受けたなあと思います。また、前委員長の手元に会員の表彰に関する個人情報があったため、協会からの問い合わせ毎に電話をかけ、場合によっては直接情報をいただきに施設まで伺い、迅速な対応に心がけていました。

現在、表彰に関するデータは、各会員個人が協会ホームページ上のマイページに直接入力・自己管理していただくようになっていますが、以前は会員名簿と照らし合わせながら、全会員の個人情報をプリントアウトし、記載マニュアルと切手を貼った返信用封筒を手作業で同封し、各個人宛に発送していました。また返信されたデータは全てPC入力をして管理し、必要に応じデータの抽出をしていました。この発送作業とデータ入力作業が、最も大変な事業でした！

あと、重要な仕事としては、日本理学療法士協会ならびに熊本県理学療法士協会等の各賞を会員の方々の中からリストアップし、理事会にて協議していただく事業がありました。「りんどう賞」の候補者推薦は最後まで苦労しました。

委員も少なく忙しかったエピソードばかりですが、今となれば全て良い思い出です。最後に、委員会を通じて多くの事を学び、多くの方々と関わる事ができました。今後も今までの経験を生かし、微力ではありますが、協会に関わっていきたいと思っています。ありがとうございました！

# 事務局だより

(公社)熊本県理学療法士協会 事務局

〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35

TEL/FAX 096-389-6463

Eメールアドレス kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp

ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

## 会員数 (H25. 12. 24 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 179 名

ブロック名	施設数 〔 ( )内の自宅会員数を 含んでいます。〕	会員数
熊本市	303(84)	1427
県北	75(18)	225
八代	82(11)	288
天草	46(7)	97
県南	18(0)	44
合計	524(123)	2081

## 会長行動録

- 11/ 6 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 11/ 6 拡大理事会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 11/ 8 事業監査：協会事務所
- 11/12 特定非営利活動法人ソーシャルインクルージョン研究センター設立記念講演会  
：熊本ホテルキャッスル
- 11/17 学術研修会  
：九州中央リハビリテーション学院
- 11/20 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 11/22 九州ブロック各県理学療法士会長会議  
：熊本市国際交流会館
- 11/22 九州理学療法士・作業療法士合同会長会議  
：熊本市国際交流会館
- 11/23 九州理学療法士・作業療法士合同学会：崇城大学市民ホール・熊本市国際交流会館
- 11/24 九州理学療法士・作業療法士合同学会：崇城大学市民ホール・熊本市国際交流会館
- 11/27 九州理学療法士・作業療法士合同学会準備委員会：九州中央リハビリテーション学院
- 11/29 熊本市ブロック北地区会議：熊本機能病院
- 12/ 4 第3回部長会議  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/11 第10回理事会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/12 法人事業審議委員会会議  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 12/15 日本理学療法士協会組織運営協議会  
：東京都
- 12/18 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 12/19 平成25年度補装具適正交付連絡協議会：ウエルパルクまもと
- 12/20 管理者教育カリキュラム修了式  
：熊本保健科学大学

## 掲示板

### ■ 異動・休会・復会・退会等の手続きについて

平成 26 年 1 月より、各種手続きシステムが変更になりました。手続きについての詳細は今号巻末尾をご覧ください。

ご不明な点は事務局までご連絡下さい。

### ■ 会員専用ページログイン申請のお願い

情報の発信・共有のため熊本県理学療法士協会ホームページの会員専用ページへのログイン申請をお願い致します。ログイン申請はホームページの「会員ログイン」からお手続きください。

### ■ 平成 25 年度会費納入について

未だ納入されていない方は日本理学療法士協会より送付されるコンビニ・郵便局用の払込票にて、記載された期限までに納入して頂きますようお願い致します。

### ■ 会費納入用楽天カードのお申込のお願い

会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」（年会費無料）へのお申込をお願いします。楽天カードへのお申込は日本理学療法士協会ホームページの会員専用ページからお手続き下さい。





## 県北ブロック

### 浦上 洋純

新しい年を迎え、会員の皆様におかれましては各々新たな目標や決意された事もあるかと思えます。こと私に関しては、ここ数年日々の業務に忙殺され、プライベートでは己の生活を省みる事もなく、ただただ空虚に過ごす日々が続いています。不惑の歳も過ぎたことですし、健康に気をつけるべく定期的に体を動かす習慣、意識付けを行っている最中です。

さて、当ブロックでの主だった活動は終了し、後は次年度にブロック長の交代が控えていますので、業務引継ぎの準備をしているところです。後任される先生は既に決定していますが、その紹介は次回に行いたいと思います。

最後になりましたが、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

## 八代ブロック

### 塚島 靖博

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

寒くなりましたね。朝夕の通勤、30分徒歩はつらいです。正月に4kg太ったのでやせなきゃ！

さて、八代ブロックの勉強会を2月12日熊本総合病院で、帝京大学 准教授 関誠先生を招いて開催いたします。膝関節の理学療法—変形性膝関節—の講演内容です。理学療法評価法(第3版) 骨関節系の障害: 骨関節疾患や運動器障害理学療法テキスト 関節構造に

由来する障害 脱臼、その他論文などを書かれている先生です。たくさんの参加者お待ちしております。

来年は公益事業として、5月に開催される人吉お城祭りに体力測定等を企画しています。お手伝いできる療法士の方は是非ご参加ください。

今年度も残り3ヶ月、悔いの無いように、新年度に向けて頑張りましょう！

## 天草ブロック

### 水田 順司

明けましておめでとうございます。皆様も良き新年をお迎えのことと存じます。私事ですが、今年年男となり、今までの臨床を振り返り、一区切りをつける良い機会とし、決意新たに今年一年を過ごしていきたいと思っております。

さて、天草ブロックからの報告ですが、11月29日第2回天草リハビリテーション研究会合同勉強会を開催し、PT、OT、ST 併せて56名の先生方にご参加いただきました。内容は演題をそれぞれPTから4題、OT、STからそれぞれ1題ずつ発表していただき、発表後はそれぞれのブースに移動しディスカッションを行い、時間の都合もあり短い時間でしたが多くの意見交換がありあした。次回開催するときには多職種に向けての案内を行い、天草のリハビリテーションの現状を知っていただくと共に、理学療法士の認知度をさらに高められるように活動していきたいと思っております。

今年度の活動は2月の第6回定例勉強会、3月の特別講義をもって終了となります。私のブロック長としての活動も残すところあと少しとなりましたので、最後までしっかりと勤めていきたいと思えます。また、次年度に関してはブロック初の公益事業も行っていく予定です。公益事業に関しては私を中心に學術部のメンバーにて多くの市民の方へ理学療法を知っていただけるような企画を立てていきたいと思っておりますので、多くの方のご協力をお願いいたします。

新年、明けましておめでとうございます。大晦日と元旦は、時間的には連続しているのですけれども、やはり気分の上では全く違う日に感じます。その新鮮な気分だからこそ、一年の目標を立てたり日記をつけ始めるなど、新しい習慣を始めようとされる方が多いのも頷けます。私も「初心」に戻り、日々の仕事を省みたところ です。

昨年11月の話になりますが、熊本大学が策定したコミュニケーションワード「創造する森 挑戦する炎」を、以前在籍された漫画家の井上雄彦氏が揮毫された書の披露がありました。井上氏は、吉川英治原作『宮本武蔵』の『バガボンド』や、車いすバスケットを描いた『リアル』などの作者として知られています。最近、同じく井上氏の『スラムダンク』を、DVDで観る機会がありました。登場人物一人ひとりの個性が際立っており、楽しめました。なかでも監督の安西先生 の言葉には、勇気づけられたことが多くあります。特に「最後まで・・・希望を捨てちゃいかん。あきらめたら、そこで試合終了だよ」は、心に残っています。私たち臨床家にとっても、目の前に患者様がいらっしゃる限り、あきらめてはいけません。たとえご本人様があきらめていらしたとしても、私たちはあきらめてはいけないと思うのです。そういうことを思いながら、年末年始を過ごしていた所でした。

さて県南ブロックでは、昨年12月末に勉強会を開催致しました。宮島医院の嶋田PTの担当で、症例検討会を行いました。住宅改修を主とした症例と、対応に苦慮する症例の2例でした。会員からは質問や助言が多くありました。今回の機会が、一人職場で奮闘されている嶋田PTの、躍進の一助となれば幸いに存じます。嶋田PT、おつかれさまでした。

今年度もあとわずかとなりました。あと1回勉強会を開催する予定ですので、会員の皆さま、奮ってご参加くださいませ。

平成26年度 募集要項  
公益信託 玉井記念整形外科学研究助成基金

1. 趣旨と目的

国民の生命の維持と健康の増進にとって重要である医学の研究を助成するため、主として熊本県内の大学、研究機関又は病院における整形外科学及びリハビリテーション医学に関する基礎的、臨床的研究を助成するために公益信託を設定し、これにより研究者の育成と医学の振興に寄与することを目的とします。

2. 助成内容

研究助成

整形外科学及びリハビリテーション医学に関する基礎的、臨床的研究で有望かつ優秀と認められるもの。

交流助成

- ・国内交流 学会シンポジウム等の開催又はこれらへの参加、受け入れなど。
- ・国際交流 海外出張、外国人研究者来訪交流など。

その他の助成

論文の印刷、翻訳、出版などに係る費用の援助。

3. 助成対象

原則として次のものに所属している研究者又はそのグループ。(但し、優れた研究を行なっている者として運営委員会が認めたときは所属を問わない)

◇熊本県内の大学又はこれに付属する研究機関。

◇熊本県内の研究機関又は病院であって、国、地方公共団体、民法34条により設立された法人又は法律により直接設立された法人に付属するもの(個人病院を除く)。

4. 助成金額

上記「2.助成内容」に対する助成金は、1件当たり、25万円～100万円とし、運営委員会で決定する。

5. 選考と決定

運営委員会の審査選考に基づき決定する。

6. 申込み方法

所定の助成申請書により申込む。

7. 申込み締切り

平成26年4月30日(水) (当日消印有効)

8. 選考及び通知

募集締切り後に開催する本基金運営委員会において選考決定の上、平成26年6月頃にその結果をお知らせします。

9. 助成金の交付

助成決定後すみやかに交付。

10. 報告の義務

「助成金使用報告書」の提出を求める。

【申請書の提出先・問い合わせ先】

〒105-8574

東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行 リテール受託業務部 公益信託グループ

玉井記念整形外科学研究助成基金 申請口

TEL : 03-5232-8910(受付: 平日9時~17時)

FAX : 03-5232-8919

# 心士会 便り福岡

## 『ホスピタリティ』

タイトルを見てピンと来た方は流石です。そう、ホスピタリティは「お・も・て・な・し」です。2013年9月7日、2020年の東京オリンピック開催を強力にアピールしたプレゼンテーションで、日本人の心がフランス語に交じって伝えられました。ホスピタリティはホスピタルつまり病院という言葉のルーツでもあります。その昔、交通機関や宿泊施設が整備されていない頃に、旅で疲れた人に対して家族と接するように歓待する（施設）という意味だと言われています。本来、病院というところは家族と接するように、また、見返りを求めずに患者さんと向き合う場所なのでしょう。ちなみに、「サービス」という言葉は、ラテン語の語源では「奴隷」という意味合いが含まれていて、そこには上下関係つまり物事を提供する側とされる側の主従関係が存在するとされています。その意味では、医療サービスや理学療法サービスという言葉は少々危うい表現であるかもしれません。病院に限らず、医療・福祉領域にはインフォームドコンセント（説明と同意）が求められますが、これ自体が本当に上下関係や主従関係のないホスピタリティ思想の形であると思います。

さて、前述のプレゼンテーションでは、世界中の人々に心のこもった日本のおもてなしを提供することが発信されました。私も皆さんも、おもてなし集団の一員としてそれを提供する機会を得ました。では、皆さんにとって心地よい「おもてなし」とはどのようなもののでしょうか。それを受ける側の感じ方や提供する側の手段は色々あっ

て、最高のおもてなしの追求は果てしないテーマです。例えば、温泉旅館で「最高のおもてなしだった」と満足した方がいたとします。「それ相応の費用がかかったのだからこのくらいのサービスは当然」と思う人であれば、おもてなしを最高と感じることは出来ないでしょう。費用が高いからとか安いからではなく、接してくれた人の笑顔や言葉から元気をもらう、あるいは必要に応じた臨機応変な対応などに感激したとき、それを「最高のおもてなし」と感じるのだと思います。

逆に、おもてなしを提供する側の立場ではどうでしょうか。私たちはどのようにすれば満足されるおもてなしを提供できるのでしょうか。おもてなしに必要な3要素を「装い・ふるまい・しつらえ」と言うようですが、人とホスピタリティ研究所所長の高野 登氏は、おもてなしとは「相手の心に自分の心を寄り添わせて、相手の立場になって対話する姿勢そのもの」と定義しています（高野 登著：リッツ・カールトン 至高のホスピタリティ, 角川 one テーマ 21, 2013）。そして、「人のために」とか「お客様のために」と考えるのは、その時点ですでに「上から目線」であるので、「その人の立場に立って」や「お客様の立場に立って」という言葉に置き換えて考えることが大切だと述べています。

患者さんや学生さんと接する私たちに共通して必要なのは、相手の立場に立って、どのような言葉や行動がその人の心に届き元気や感動を与えられるのか、を考えることだと思います。そのためには自分を磨き、感性を磨くことが必要だと思います。様々なことに関心を持ち、様々な価値観で物事をとらえ、多くの人とコミュニケーションを交わすことができる人、そんなホスピタリティのプロがホスピタルには必要ではないでしょうか。理学療法士には鋭い感性の持ち主が多い、そんな印象が7年後のオリンピックやパラリンピックで選手や関係者に伝われば一層素晴らしいなと想像しています。



## 学会・研修会印象記

『第 35 回九州理学療法士・作業療法士  
合同学会に参加して』

宇城総合病院 演 愛美

平成 25 年 11 月 23～24 日、崇城大学市民ホールと熊本市国際交流会館で開催された第 35 回九州理学療法士・作業療法士合同学会に参加させて頂きました。今回の学会のプログラムは各講演(基調講演・特別講演・教育講演・市民公開講座)と口述発表、ポスター発表となっていました。今回、私は口述発表をさせて頂く機会を得ました。

登表演題は『高 BCAA・高 Ca・高ビタミン D 含有飲料摂取によるサルコペニアの改善について』です。私自身、対外的な場所での発表は初めてということで緊張しました。スライドや原稿の作成など、どうすれば多くの人に分かりやすく伝えることができるかということに難渋しました。しかし今回の発表を通して、分かりやすく伝えるためにはどんなことが大切か、色々考えながら工夫しとても良い経験となりました。発表後は研究内容に対するアドバイスや質問を頂き、多くの気づきがありました。さらに今後の研究に生かしていきたいと思います。

今回の合同学会のテーマは『Heart&Science』を主題、『先端科学とリハビリテーション』を副題として、多くの演題発表がありました。最先端の科学がリハビリテーションにどのように反映しているのか、また、それを患者様に導入してどう変化していったのか、興味深い内容が多くありました。また、地域性を生かしたアプローチ方法や私自身、関わりの少ない疾患の患者様に対しての訓練内容なども聴くことができ、考え方の幅が広がったように思います。

今回の合同学会で多くのセラピストの発表を聞くことで、私自身も大変刺激になりました。また、初めて耳にする言葉も多くあり、まだまだ自分の知識の少なさを感じました。医療や科学の進歩に伴い、リハビリテーション分野も変化しており、私自身も学び変化していかなければならないと感じました。これからも様々な知識や技術を取り入れ、理学療法士としてさらに成長していきたいと思えます。

## 学会・研修会のお知らせ

### 日本訪問リハビリテーション協会 第 4 回学術大会 in 熊本 「地域包括ケア時代の 訪問リハビリテーション —その多様性と可能性—」

記

日 時：平成 26 年 6 月 7 日(土)  
～6 月 8 日(日)

場 所：市民会館崇城大学ホール  
(熊本市中心区桜町 1 番 3 号)  
熊本市国際交流会館

(熊本市中心区花畑町 4 番 1 8 号)

対 象：PT、OT、ST、その他医療専門職

受講費： 会員 【事前登録】 7,000 円

【当日受付】 9,000 円

非会員 【事前登録】 9,000 円

【当日受付】 11,000 円

※尚、当日登録は数に限りがありますのでご了承下さい。

一般公開講座のみ【当日受付】 無料

申し込み：2013 年 12 月 1 日

～2014 年 3 月 15 日

参加申し込み・問い合わせ

<http://www.houmonreha.org/kumamoto/index.html>

※上記サイト内の「参加申し込み」より登録が可能です。



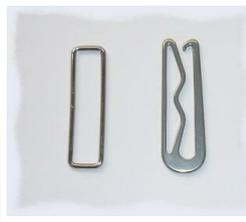
賛助会員とは、(公社)熊本県理学療法士協会の目的に賛同し、この協会に対し育成、援助を図る個人又は団体のことです

## (株)ホワシ

(株)ホワシは、平成5年9月に設立されました。病院での治療等に使用する装具や失われた部分を補う義手・義足の製作が行われています。また、居宅においての介護状態の改善や自立性を高めるため、(株)ケアーズホワシにて福祉用具・住宅改修を利用した環境設備のサポートもされています。

様々なサービスの提供と技術向上に日々取り組んでおられ、「安心と安全を形にして便利で快適な生活の支えとなる！」会社であり続けたいとの考えで運営されています。

所在地：熊本県熊本市東区  
小山5丁目19-55  
TEL：096-389-5411  
FAX：096-389-7803  
E-mail：[info@howashi.jp](mailto:info@howashi.jp)



特許取得の  
クイックリング

### 事業内容

1. 義手・義足、各種装具の採型、製作、適合、研究、開発
2. 介護用品販売・レンタル、福祉用具販売・レンタル、住宅改修

## (株)ミタカ

介護用品の  
**mitaka**  
株式会社ミタカ

(株)ミタカは、昭和59年8月に設立されました。福祉用具のレンタル・販売、住宅改修の支援・提案のほか、福祉機器展の開催等幅広い事業展開をされています。

また、高齢者向け健康教室、介護予防サポーター養成講座の開催、介護予防テキストの作成等も行い、介護予防地域支援事業にも力を入れておられます。

所在地：上益城郡嘉島町上仲間 850 番地 2  
TEL：096-237-2257  
FAX：096-237-2259  
E-mail：[honsha@t-mitaka.com](mailto:honsha@t-mitaka.com)



### 事業内容

1. 福祉用具の貸与、特別福祉用具の販売
2. 住宅改修サービス
3. 介護予防支援事業
4. 福祉機器展開催





# よろず運動療法相談所

スポーツ小委員会

## 「マラソン後のケアの仕方や食事について」

本年2月16日(日)に『熊本城マラソン2014』が開催されます。



走れ、挑め、天下の名城へ。  
熊本城マラソン2014

KUMAMOTO CASTLE  
MARATHON  
2014.2.16(SUN)

公務員ランナーの川内優輝選手も出場予定の「歴史めぐりフルマラソン」に至っては、全国各地から約12,000人の市民ランナーが城下町を駆け抜けます。今回は、熊本県理学療法士協会のスポーツ小委員会が、マラソン後のケアの仕方や食事について簡単にご紹介致します。

### ● レース後の水分補給

直後には、まずは水分補給をしましょう。さらに、糖分と一緒にとるとベスト。できれば、スポーツドリンクなど、糖分に加え必要な水分とイオン(電解質)を早めに補給しましょう。また、ビタミンCやクエン酸を含んでいる100%ジュースもオススメです。

### ● アイシング

レース中に脚を痛めた場合、あるいは痛みを感じた箇所を早急に氷でアイシングしましょう。冷やす時間目安は、20分ぐらいにして下さい。

### ● 疲労をおさえる“積極的休養”を心がける

ゴール後は、すぐに座り込んだりせず心臓への負担を軽くするために、しばらくはゆっくりと歩き続けて呼吸を整えましょう。かなりの汗をかいているでしょうから、なるべく早いうちにタオルで汗を拭きとって着替えるようにします。そして、軽めのストレッチングや疲労物質の乳酸を蓄積させないようにするセルフマッサージをして筋肉や関節のこわばりを最小限に食い止めましょう。熊本城マラソンのような、真冬のマラソン大会ではゴール後、あまり長居せずすみやかに帰宅することも大切です！。

### ● レース終了後のその日の夕食 ～タンパク質・糖質・ビタミン・ミネラル～

マラソン終了後は胃腸も疲れているため、消化の良い食事をするように心がけましょう。その日の夕食でチャージしておきたいのは、夜眠る時に体を修復させるために必要な栄養素です。そして、筋肉や肝臓から貯金(グリコーゲンという物質)を、走るエネルギーとして使った分だけ、再び貯金できるようにしっかりと糖質をとるようにします。さらに走ることで使ったビタミン・ミネラルは、糖質をグリコーゲンに変化させるために必要となるため、併せて摂取するようにします。特にビタミンB群の補給は必須!!。お鍋は野菜や魚・お肉などを煮込むので消化の良い食事の代表!!!。

### ● 大会後(フルマラソン)の休養

フルマラソンの疲労が取れるには、1か月必要だとされています。その期間は、激しい運動を避けましょう。



無理をしないで自分の身体を気遣うことも、何よりも『また、楽しく走る』ことに繋がると思います。

# 医療・介護お役立ち情報

このページでは理学療法士協会が主催して行なった研修会より、市民の皆様方に医療・介護で役立つ情報をお伝えします。

第5回目は「自立を促す介護のポイント：車いすの介助方法編」をお送りします。

## 車いすの介助方法について

今回は車いすの介助方法をお伝えします。屋内はもとより、外出の際は外で車いすを介助することとなりますが、**屋内と違い屋外は平らな道は少ないです。**水はけを良くするために傾斜がついていたり、坂道の上下等もあり介助をする方も注意が必要となると思います。

### ●車いすの各部位名称



### ●車いすを介助する際の注意点

一般的には、介助者は両手で車いすのハンドルを握り、前に押します。急発進や急停止は厳禁です。

車いすに乗車している方に多いケガとして、**両肘の皮膚を擦りむいたり、足乗せより足が地面に落ちてしまい**ことが原因による足首の捻挫などがあります。背後より車いすを押ししているため、**介助者は車いすに乗車している方の表情や足元、両肘の位置などは見えづらいことを心得ておく必要があります。**

### ●介助者は車いすになるべく近づく

車いすに近づくことで、①乗車している方の**足元が見えやすくなる**、②介助者の踏み出す歩幅が短くなり車いすを押すスピードに制限を加えることができ、**揺れや勢いなどで足がフットレストから落ちてしまうリスクが小さくなります。**

### ●坂道の上下の介助

- ① 上りは、**介助者の重心をしっかりと車いすに預け**(写真2)、踏ん張りながら押し上げます。
- ② 下りは、車いすを引き寄せせるようにして乗車している方が前方に倒れないかを注意しながら行ないます。
- ③ **急な下り坂は、車いすを後ろ向きにし**介助者の重心をしっかりと車いすに預け、ゆっくり踏ん張りながら下ります。
- ④ 歩道などで傾斜した場所では、**傾斜側に車いすが引きずられ下がって**いってしまうため、介助者は下がっていく側の**ハンドルを持った手を、肘置きに持ちかえ**ます(写真3)。介助者は傾斜に引っ張られる状態が緩和され、まっすぐに押しやすくなります。



写真2



写真3

### ●凹凸のある場所での介助

凹凸のある場所では平らな道よりも更に座っている状態が安定しません。また、**車いすの前輪が小刻みに振動し、「車酔い」状態になり気分が悪くなる**ことも考えられます。そのため、①乗車している方に**しっかりと肘置きを握**ってもらい姿勢を安定させる、②介助者が**車いすの前輪を持ち上げて後輪のみで走行**する、などの方法で対応してみてください。

# 学術事業部文献紹介

## 『移動知』

編集者 浅間 一  
出版社 オーム社

移動知とは、文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「身体・脳・環境の相互作用による適応的運動機能の発現 ―移動知の構成論的理解―」の略称であり、本シリーズはこの研究成果がまとめられた物で、「移動知」という新たな視点から適応的運動機能の発現メカニズムと、その背後にある共通原理が記述されています。

第1巻では移動知研究の概略や基本概念、関連する脳神経機構など基本的な知識がまとめられています。第2巻では歩行の神経機構を実行系・調節系・高次脳機能系に分けて解説し、それらのシステムシミュレーションや歩行ロボットの開発に関して述べられています。第3巻では環境への適応行動を生物がどのように調節しているかを各種実験や計算モデルから解説しています。第4巻では社会環境に対する適応行動を、ヒトだけでなく他の生物の事例も交えながら、ヒトにおける社会適応機能について解説されています。

本シリーズは生物学・工学的研究に関してまとめられた物であるため、やや難解な部分もありますが、臨床に活用できる知識が盛り込まれている書籍です。  
(文責：宇野 勲)

## 『オステオパシーアトラス マニュアルセラピーの理論と実践』

著者：アレクサンダーS. ニコラス、エヴァンA. ニコラス  
監訳：赤坂清和  
出版社：医道の日本社

オステオパシーとは、筋膜・骨・関節・頭蓋・臓器・リンパ・血管など、あらゆる器官に対する技術を持ち合わせ、さらには患者を身体・心・精神の3つからなる統一体として捉え、診察し、手技により治療を行う療法のことを言います。

本書は第1部と第2部に分かれており、第1部はオステオパシー検査の原理や筋骨格の性的検査、脊柱可動性、オステオパシー触診、分節間可動性検査など考え方や評価方法が記載されており、第2部はオステオパシー手技の原則、軟部組織テクニック、筋筋膜リリース、カウンターストレッチ、マッスルエナジーテクニック、スティルテクニック、靭帯張力バランス、内臓テクニック、頭蓋骨オステオパシー、リンパ手技などのオステオパシー手技が記載されています。

本書は、ほぼ全てのオステオパシー手技について、その原理および手技について他の手技との相違点を分かりやすく整理されています。よく知られた手技から今まで知らなかった多くの手技が網羅されており、手技の手順については1,000枚以上のカラー写真を用いて解説されています。また、臨床場面で実践できるように症状の診断基準と治療手技が関連づけられるようになっており、治療の実践までの手順が分かりやすく記載されています。是非本書を手にとって頂き、自らの治療手技を拡大させ、目の前の患者さんを改善させる手助けとなればと思います。  
(文責：杉本一洋)

## 『入谷式足底板 基礎編』

著者：入谷 誠  
出版社：運動と医学の出版社

本書は、全国各地で研修会が開催されており、現在注目されている理学療法士の一人である入谷誠先生が単独執筆し出版された著書です。

第1章は足底板とはどういうものか、入谷式足底板の考え方や臨床応用などの入谷式足底板の概要、第2章は入谷式足底板作製にあたり著者が必要と考える足の機能解剖を中心とした基礎知識、第3章は歩行の基礎知識や歩行分析のポイントなどの歩行動作について、第4章は足部テーピングやパッドを使用した足底板作製のための直接的評価、第5章は直接的評価によって決定したことを足底板の形状にどのように反映させるのかとその具体的方法、またその形状をどのように研磨するのかという入谷式足底板の実際が書かれており、全5章で構成されていました。

全ての内容がカラーでありとても分かりやすい内容でした。またDVDも付属されており、実際の手順がライブ感覚で学ぶことができる為、さらに分かりやすい内容でした。全国各地で研修会が開催されていますが、人気が高く希望してもなかなか参加できない方はこの本を熟読することで研修会参加と同様の知識や技術が身につくと思います。また、研修会に参加される方も目を通し参加することで内容がより深く身に着くと思いますので興味がある方は手に取り臨床現場に生かして頂きたいと思います。  
(文責：杉本一洋)

異動・休会・復会・退会等の手続きについて

※平成 26 年 1 月より異動等手続きシステムが大幅に変更になります。



**会員異動等各種手続きが WEB のみになります。**

(県外異動、入会、休会、復会、退会の場合、熊本県理学療法士協会専用の別途手続きが必要です)

**【紙申請廃止への経緯】**

協会システムの整備によって、各種申請が WEB から実施できるようになり、業務の軽減・迅速化、経費の削減のため等、紙申請を廃止することになりました。

**【廃止される紙申請の内訳】**

入会申請、異動申請、休会申請、復会申請、退会申請

**【紙申請の廃止日】**

平成 25 年 12 月末日

**【廃止日以降の対応について】**

廃止日（平成 25 年 12 月末日）以降、Web の環境がないなど、紙面申請しかできない会員の対応については、日本理学療法士協会事務局へご連絡ください。協会から用紙を個別にお送りします。

## 《日本理学療法士協会 異動申請システム》

異動等会員データに変更がありましたときは Web 申請にて手続きをお願いいたします。  
日本理学療法士協会ホームページ内の【マイページ】よりログインしお手続きください。

### ■異動

1. 勤務先異動・改姓・自宅住所変更等により会員登録に変更が生じた場合、Web 申請にてお手続きください。

### ■休会

1. 休会を希望する場合は、Web 申請にて手続きください。
2. 休会期間は 1 年単位となります。  
休会期間は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとなり、年度途中の休会も終期は 3 月 31 日となります。

3. 休会期間満了時（3月31日）までに復会・休会継続・退会いずれかの手続きが必要となります。  
\* なお、「休会継続」の手続き受付期間は【1月1日～3月31日】までとなります。  
期間外は受付出来かねますので、ご了承ください。  
満了時までには手続きがない場合、規定により**退会**となります。  
再度、入会を希望する場合は、入会金・入会手続きが必要となり、新人教育プログラム・生涯学習基礎プログラムが再履修となります。
4. 休会中に改姓・連絡先の自宅住所が変更になった場合は、Web申請にてお手続きください。
5. 休会中の研修会等への参加資格はなくなります。

#### ■復会

1. 休会中の会員が復会を希望する場合、Web申請にてお手続きください。

#### ■退会

1. 日本理学療法士協会及び都道府県士会を退会する場合は、Web申請にてお手続きください。
2. 会員証カードは速やかに日本理学療法士協会へ返送いただきますようお願いいたします。

【会員証カード返送先】 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-8-5

日本理学療法士協会事務局 会員管理部 宛

- 【注意事項】
- ・年度途中の入会・復会・休会・退会の場合は当年度会費全額の納入が必要となります。
  - ・当年度分までの会費の納入が確認できない場合は、申請は受理出来ません。
  - ・当年度とは、4月1日から翌年3月31日までを示します。

※Web申請に関してご不明な点がございましたら、日本理学療法士協会へお尋ねください。

## 《熊本県理学療法士協会 異動申請システム》

熊本県理学療法士協会では、県外異動、入会、休会、復会、退会の場合、従来通り専用の手続きが必要です。手続き方法はWeb申請後、後日改めてご案内致します。

#### <手続き終了連絡について>

- ・異動に伴いブロックが変更になった場合のみ、新しい所属ブロックについてご連絡致します。
- ・休会者には休会期間についてご連絡致します。
- ・その他は郵送物等の宛先で内容の確認をお願い致します。
- ・提出から1ヶ月以上経過しても前登録内容で郵便物が届く場合は、お手数ですが県協会事務局までご連絡下さい。内容に誤りがある場合も申し訳ありませんがご連絡頂きたくお願い致します。

※ ご不明な点がございましたら、県協会事務局までお尋ね下さい。(TEL 096-389-6463)

# 事業予定表

2月		3月		4月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	土	1	土	1	火
2	日	2	日	2	水
3	月	3	月	3	木
4	火	4	火	4	金
5	水	5	水	5	土
6	木	6	木	6	日
7	金	7	金	7	月
8	土	8	土	8	火
9	日	9	日	9	水
10	月	10	月	10	木
11	火	11	火	11	金
12	水	12	水	12	土
13	木	13	木	13	日
14	金	14	金	14	月
15	土	15	土	15	火
16	日	16	日	16	水
17	月	17	月	17	木
18	火	18	火	18	金
19	水	19	水	19	土
20	木	20	木	20	日
21	金	21	金	21	月
22	土	22	土	22	火
23	日	23	日	23	水
24	月	24	月	24	木
25	火	25	火	25	金
26	水	26	水	26	土
27	木	27	木	27	日
28	金	28	金	28	月
		29	土	29	火
		30	日	30	
		31	月	31	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護保険領域における研修会</li> <li>●熊本市ブロック菊阿地区会議</li> <li>●八代ブロック会議</li> <li>●八代ブロック勉強会</li> <li>●天草ブロック会議</li> <li>●第5回県南ブロック勉強会</li> <li>●教育部会議</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●天草ブロック特別講義</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成25年度事業監査</li> <li>●かくどけい第115号発行</li> <li>●天草ブロック会議</li> <li>●県南ブロック会議</li> <li>●熊本市東ブロック会議</li> </ul>	

# 学会・研修会のお知らせ

## 介護保険領域における研修会 「在宅リハビリテーションの未来」

今回当協会では、「NPO 全国在宅リハビリテーションを考える会の理事長」であり、介護保険分野で全国的に事業展開されている、「ポシブル医科学株式会社の代表取締役」である、塩中雅博 先生 を講師に迎えて、下記日程にて開催致します。今後の制度改正や地域リハビリテーションの展開を含めて有意義な研修会になることと思っておりますので、皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

記

テーマ：「在宅リハビリテーションの未来 ～ポシブルの展開と展望～」

講師：ポシブル医科学株式会社 代表取締役 塩中雅博 先生（理学療法士）

開催日：平成 26 年 2 月 22 日（土）14:00～17:00（受付開始 13:20～）

会場：九州中央リハビリテーション学院

〒860-0821 熊本市中央区本山 3-3-84 TEL 096-322-2200（代）

対象：医療・介護・福祉関連職種、一般市民、等

定員：100 名

参加費：熊本県理学療法士協会会員 1000 円 ・ 会員外 2000 円

申込方法：必要事項を記入の上、メール又は FAX での申し込みをお願いします。

必要事項：①氏名(ふりがな)、②職種、③経験年数、④所属、⑤会員番号（理学療法士協会会員の場合）

締め切り：平成 26 年 2 月 14 日（金）（※定員になり次第締め切ります）

### 参加申込み・問い合わせ

くまもと温石病院 在宅支援事業部 高口 宛

E-mail：[reha-zaitaku@onjaku.jp](mailto:reha-zaitaku@onjaku.jp) FAX：0964-46-3151 TEL：0964-46-3000

\*熊本県理学療法士協会会員の方は履修単位及びポイントに該当します。PTA Membership Card(緑色)によるポイント管理を行いますので、当日は忘れずにご持参ください。

## 編集後記

いよいよソチオリンピック開幕間近となりました。個人的に注目しているのは、スノーボード代表候補の平野歩夢選手です。15 歳にして史上最年少メダル候補と讃えられています。去年はワールドカップ優勝を果たし、緊張はなかったの一言。15 歳でどれだけの場数を踏んできたのでしょうか？。そんな彼に感化され、今年は何事にも取り組む姿勢で、理学療法士として自分の技を磨く一年にしたいと思います。頑張れ日本!!! (D.W)



公益社団法人熊本県理学療法士協会 広報誌「かくどい」

号 数 第 113 号 通算 150 号  
発行日 平成 26 年 1 月 27 日  
発行人 公益社団法人熊本県理学療法士協会  
〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35  
TEL/FAX 096-389-6463

S T A F F 坂田 大介 岩村 泰年  
江口 宏 中野 真実  
奥 蘭 彩 富 永 誠  
野田 智愛 渡邊 知子  
松本 美香 有馬 正英  
古川 晃次 中 熊 麗  
渡邊 大輔 南 留美子  
福田 圭祐 岩見 幸省  
紫垣 華苗 野尻 晋一 (表紙)

